

かがわの「環境にやさしい農業」推進計画 概要

計画期間：令和3年度～7年度

計画策定の目的：

脱炭素社会の実現に向け、農業分野においても化学合成農薬や化学肥料の使用低減など、環境に配慮した農業生産が求められています。県内で環境にやさしい農業に取り組む農業者は、個人や小グループで、生産量も限られています。こうした状況を踏まえ、環境にやさしい農業のすそ野を拡大するとともに、環境にやさしい農業を志向する農業者が安定的な経営と経営発展が図れるよう支援することにより、本県における環境にやさしい農業の持続的な発展を目指した新たな「かがわの「環境にやさしい農業」推進計画」を策定します。

脱炭素社会の実現に向けた本県農業の推進イメージ

○ 環境保全型農業の推進

① 温室効果ガス削減

温室効果ガスの排出を低減する栽培技術の実証を通じた技術普及

② 化学合成農薬低減

総合的な病害虫管理技術(IPM)の技術習得・定着

③ 化学肥料低減

土壌分析の定期的な受診土づくり・施肥改善の指導者の人材育成

④ 有機農業の拡大

有機JAS認証制度などの指導及び助言、有機農業指導員の育成

⑤ 推進体制の強化

関係団体が参画する推進体制を整備し、「環境にやさしいグリーンな農業」への転換を促進

○ GAPの取組推進

- ① 指導体制の強化
- ② 普及啓発
- ③ 農業経営体、教育機関における認証取得



県・市町・流通業者等の支援

○ 環境保全型農業の意識啓発
セミナー開催、有機農産物グループのマルシェやイベント等への出展支援

○ 消費者へ環境にやさしい農産物への理解や関心が深まるようエシカル消費の推進、有機農産物などの学校給食等への利用促進

○ 有機農産物の生産者などの情報発信による消費者が入手しやすい環境づくり

○ 有機農業を核とした担い手の確保・育成

- ① 新たに有機農業を行おうとする者の支援
- ② 有機農業者ネットワークや産地づくりの推進